

(第28回)
令和4年度
安全衛生大会

TKO 東光鉄工株式会社

経営理念

高い生産性

広い社会性

深い人間性

社訓

誠実 信用 信賴 創造 挑戦

行動指針

お客様第一主義の経営

透明性の高い経営

全員参加の経営

社員と共に躍進する経営

有言実行の経営

東光鉄工企業使命感

高度な技術と創造力で
社会の繁栄に貢献する

東光鉄工株式会社

令和4年度 基調

共有

(第28回)
令和4年度
安全衛生大会

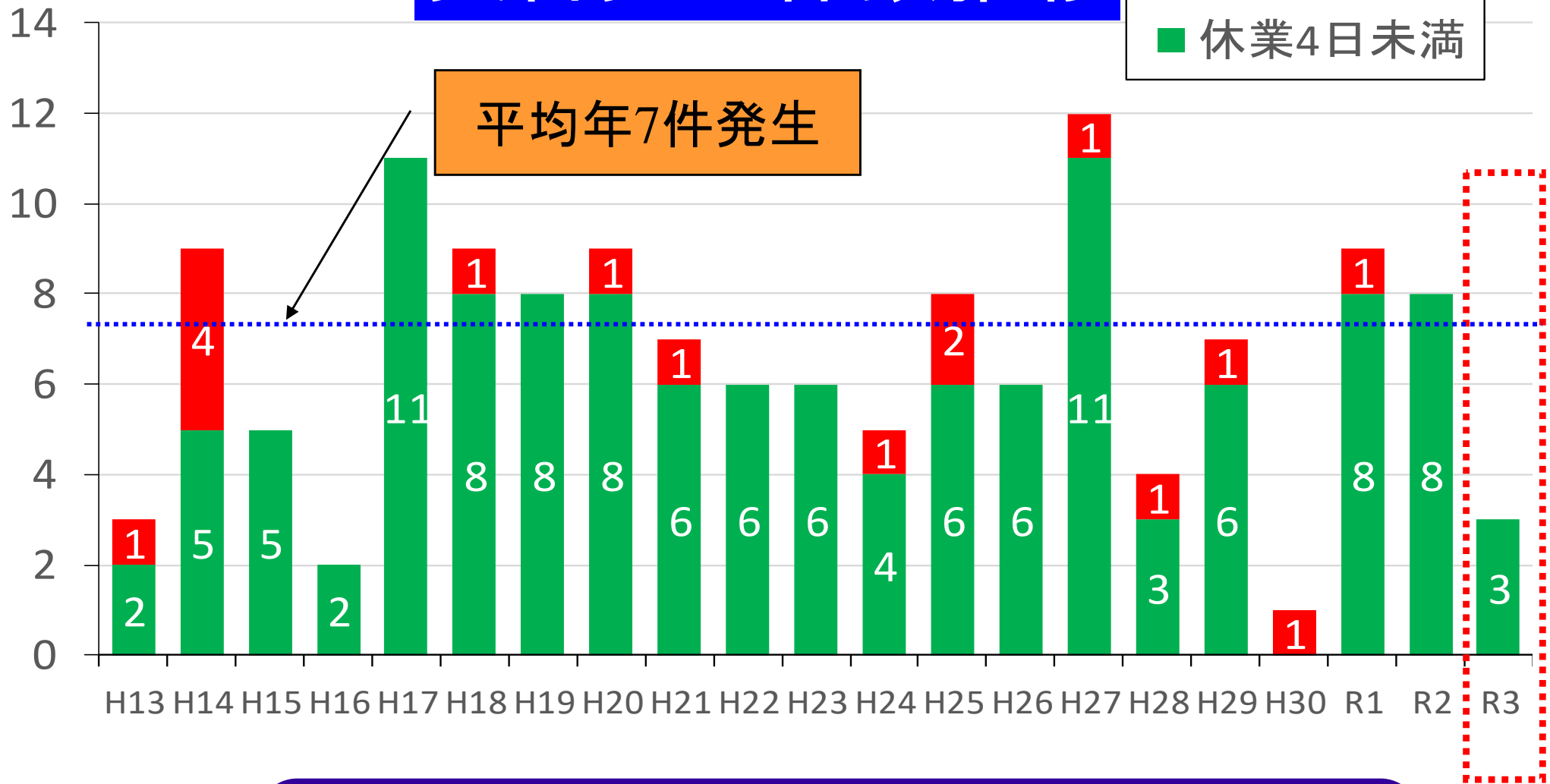
TOKO 東光鉄工株式会社

災害発生状況

(H13.6～R4.5)

統計21年間

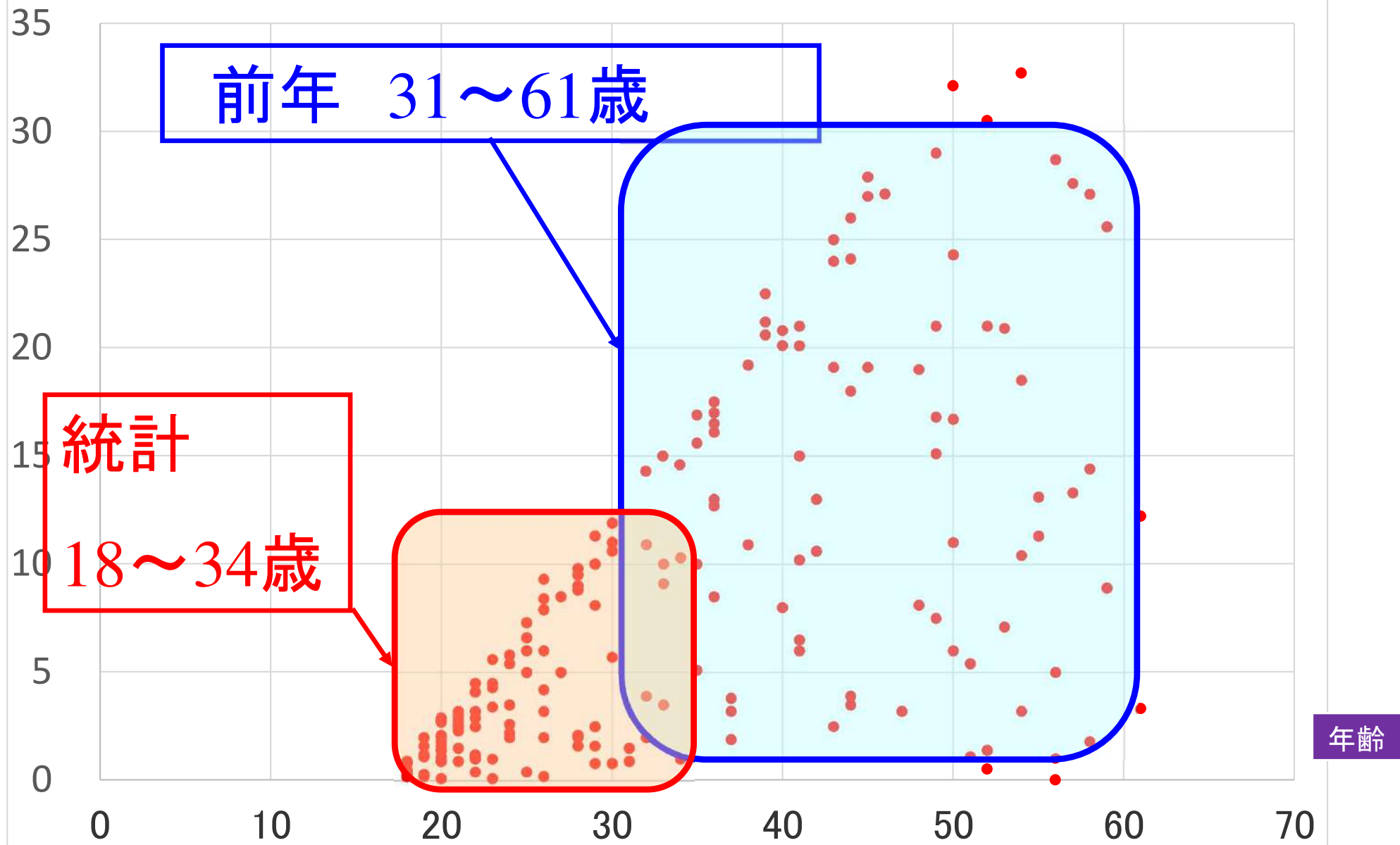
災害発生件数推移



前年(R3.6~R4.5)災害3件発生

鉄骨3件

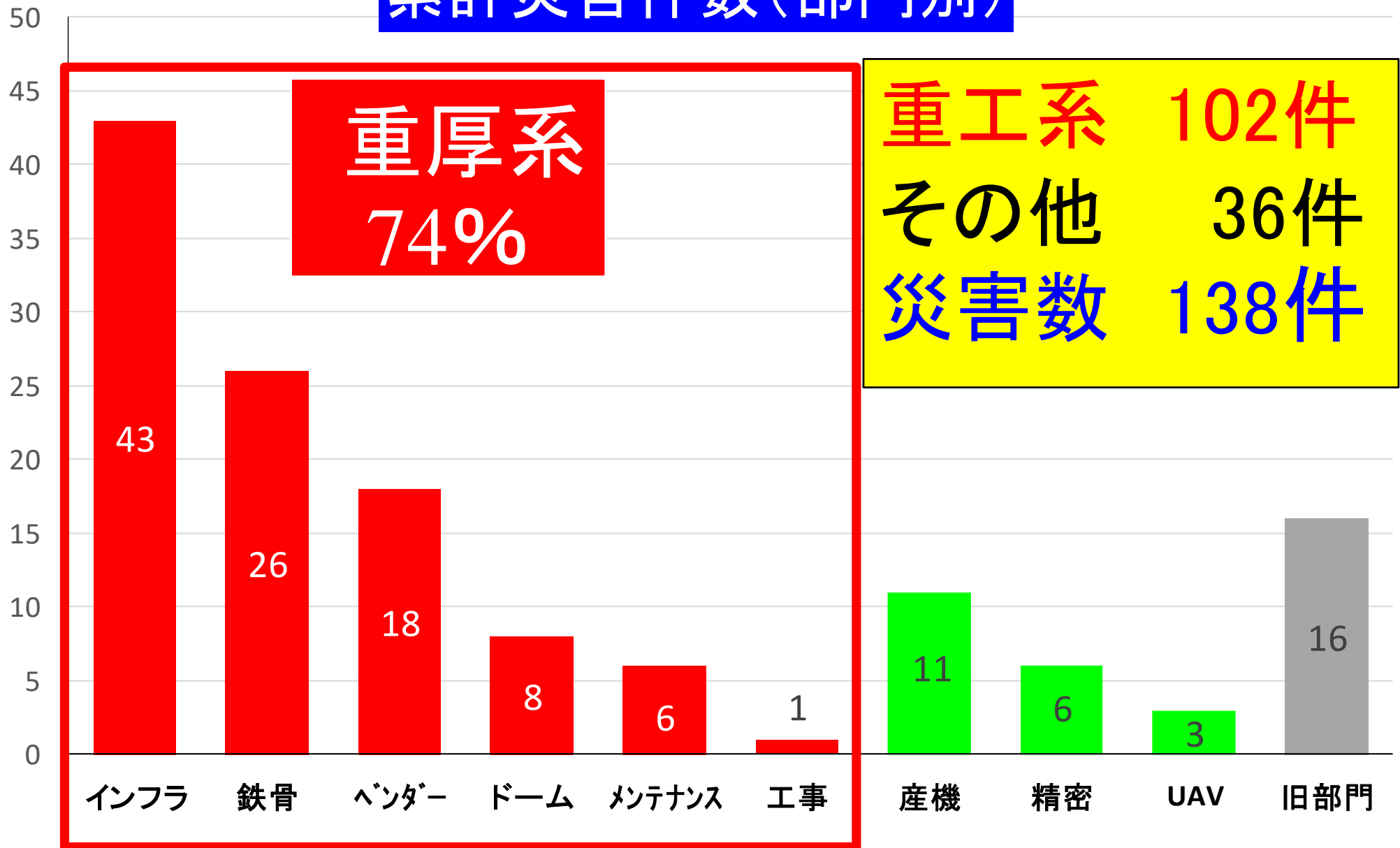
災害発生分布(年齢・勤続年数)



前年 被災者 年齢 31歳、48歳、61歳

前年 被災者 勤続年数 2年、25年、30年

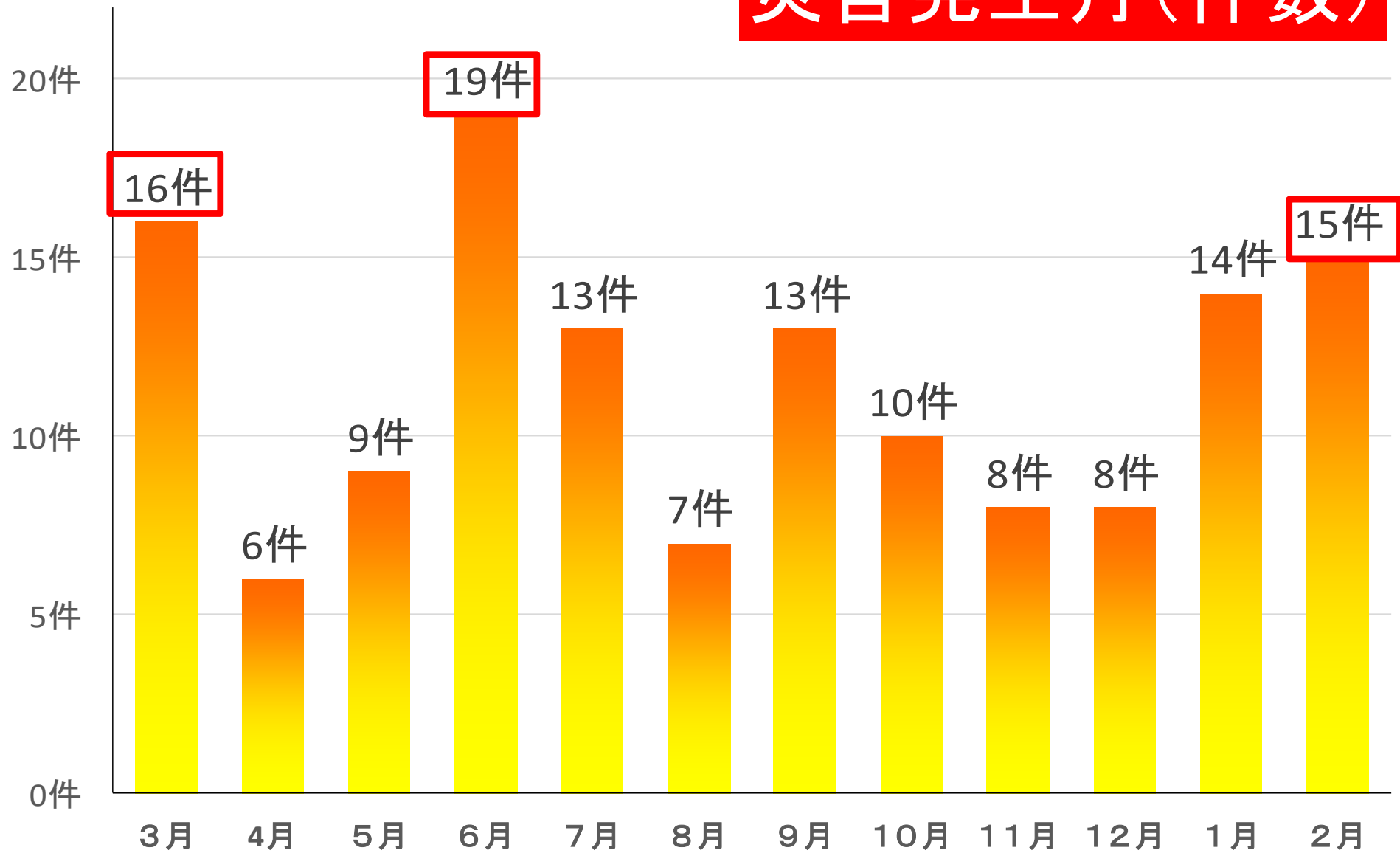
累計災害件数(部門別)



昨年

3件

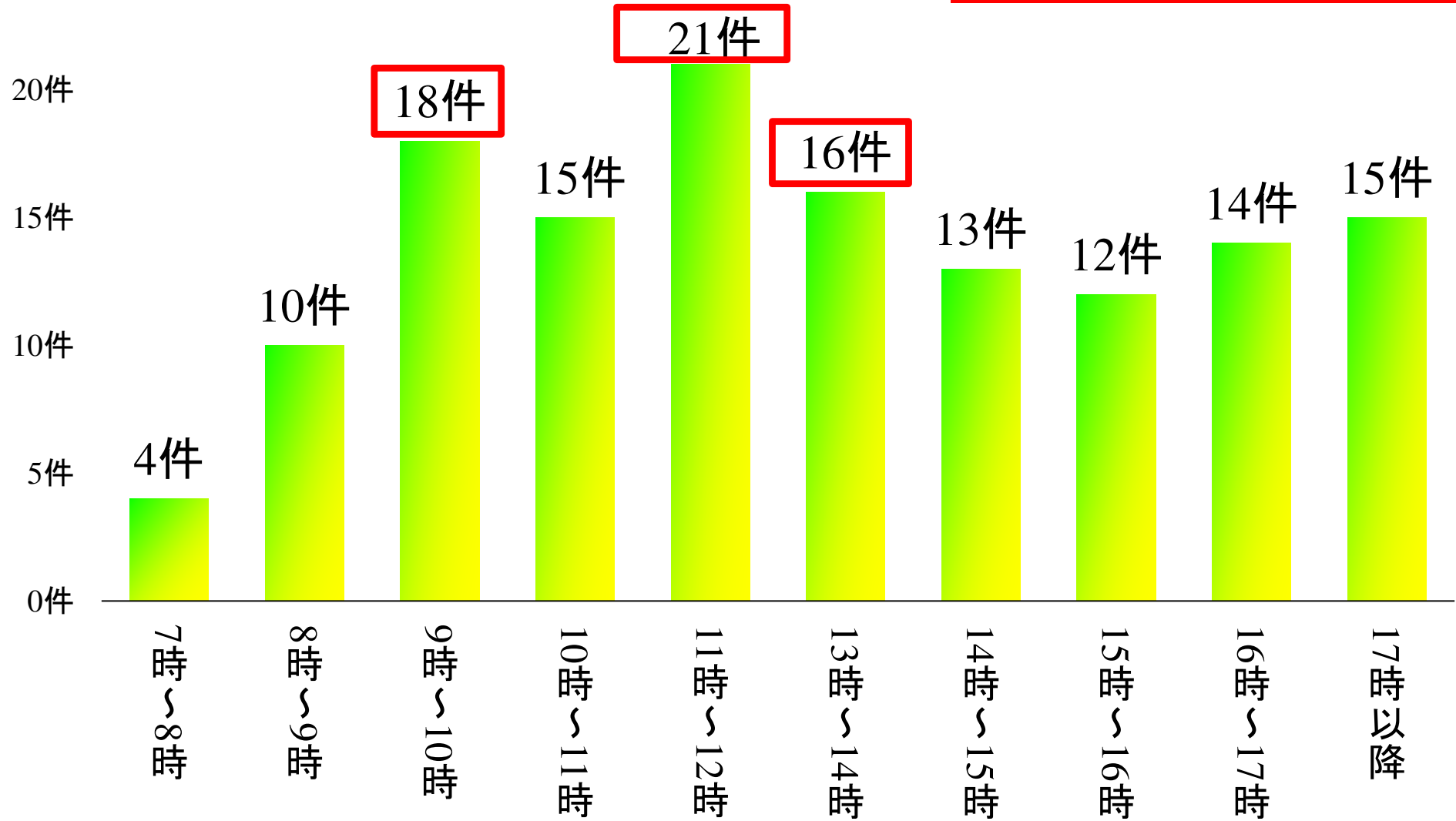
災害発生月（件数）



昨年 1件

1件 1件

災害発時間(件数)



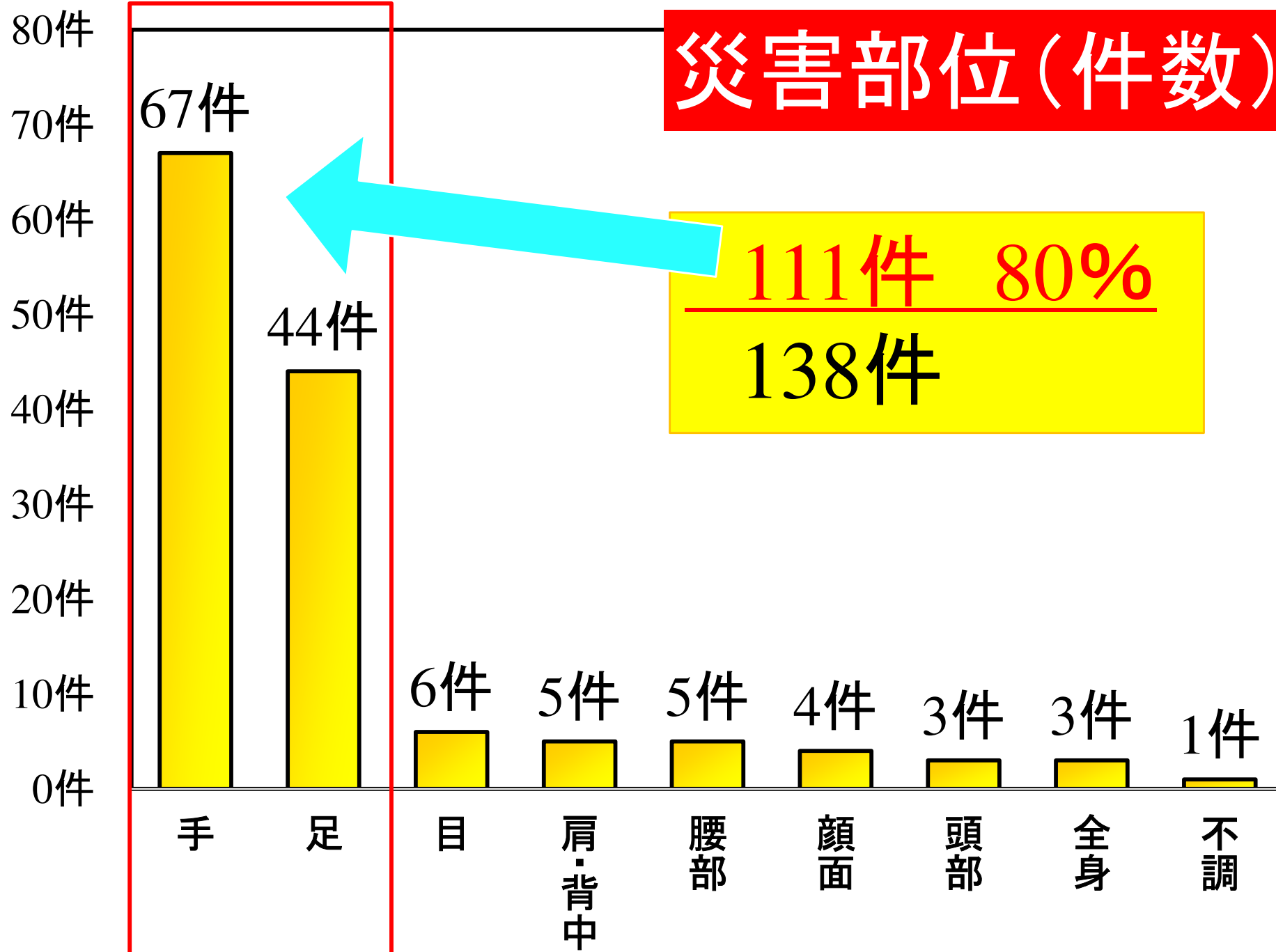
昨年

1件

1件

1件

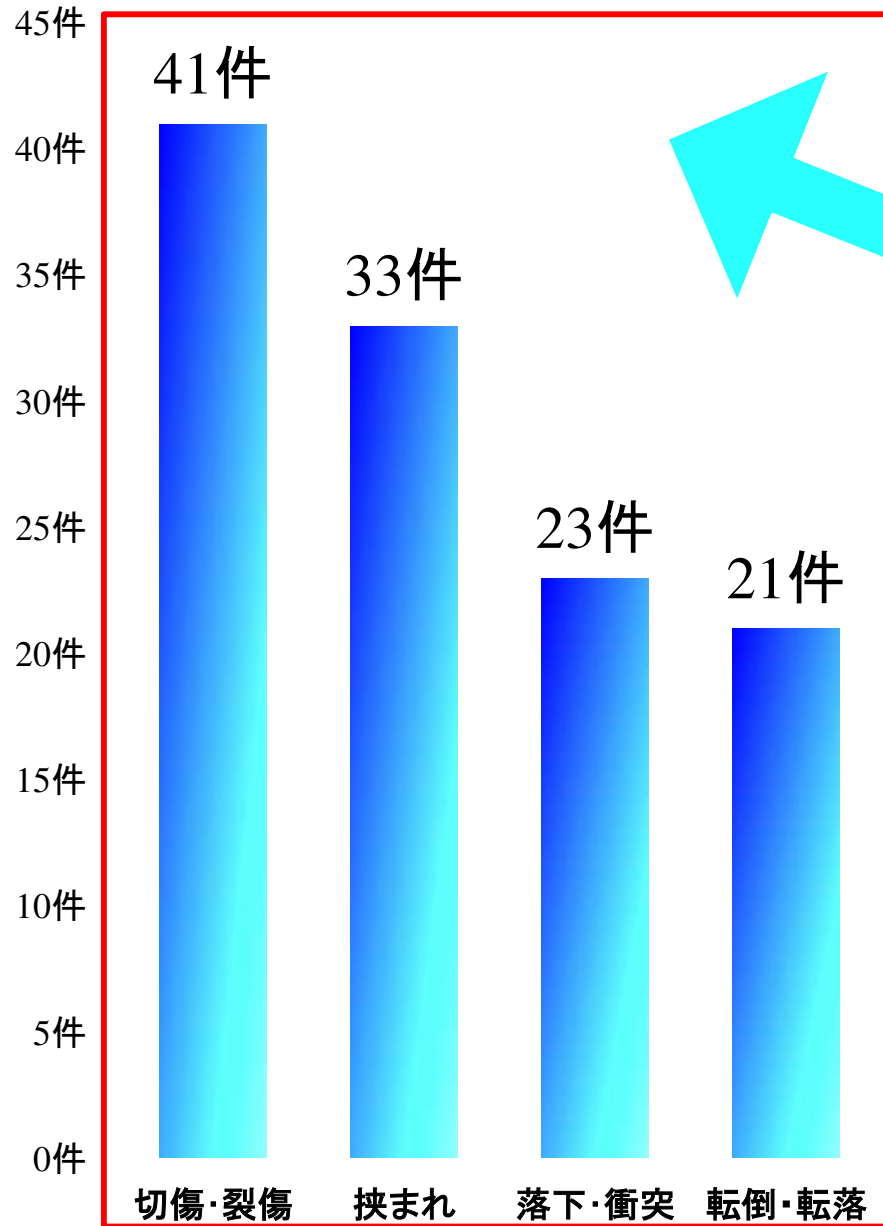
災害部位(件数)



昨年 1件 2件

災害種別(件数)

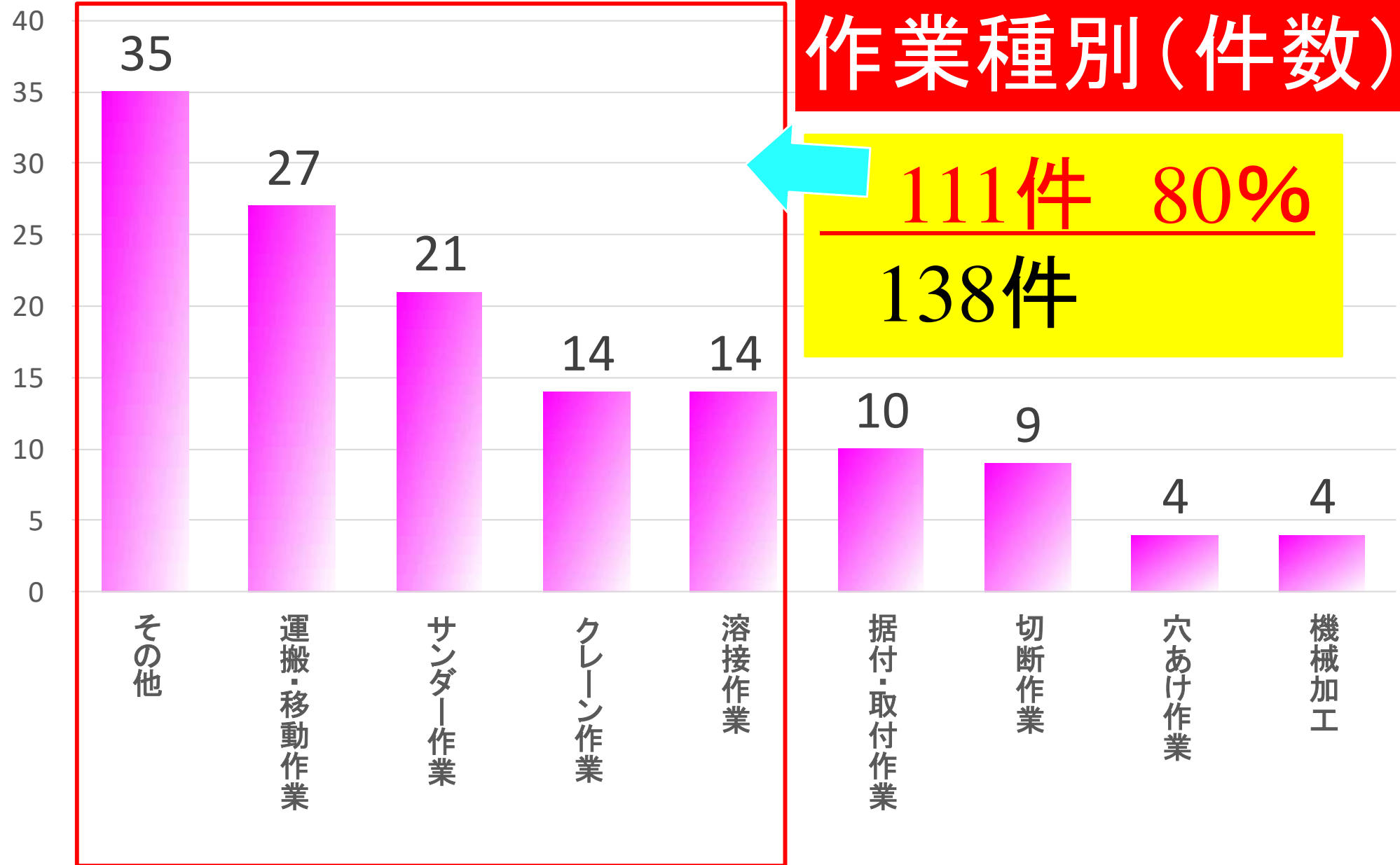
118件 86%
138件

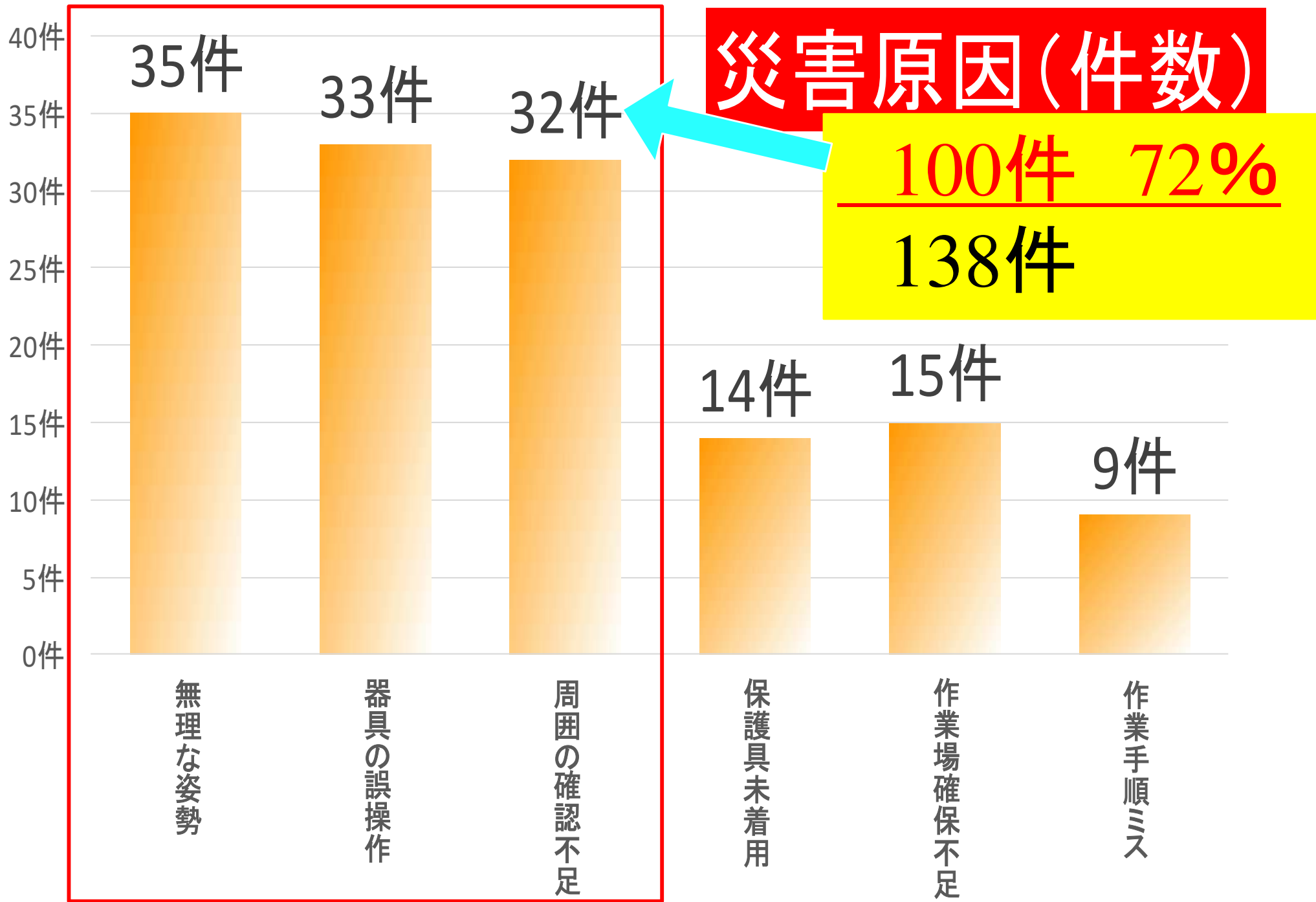


昨年 2件

1件

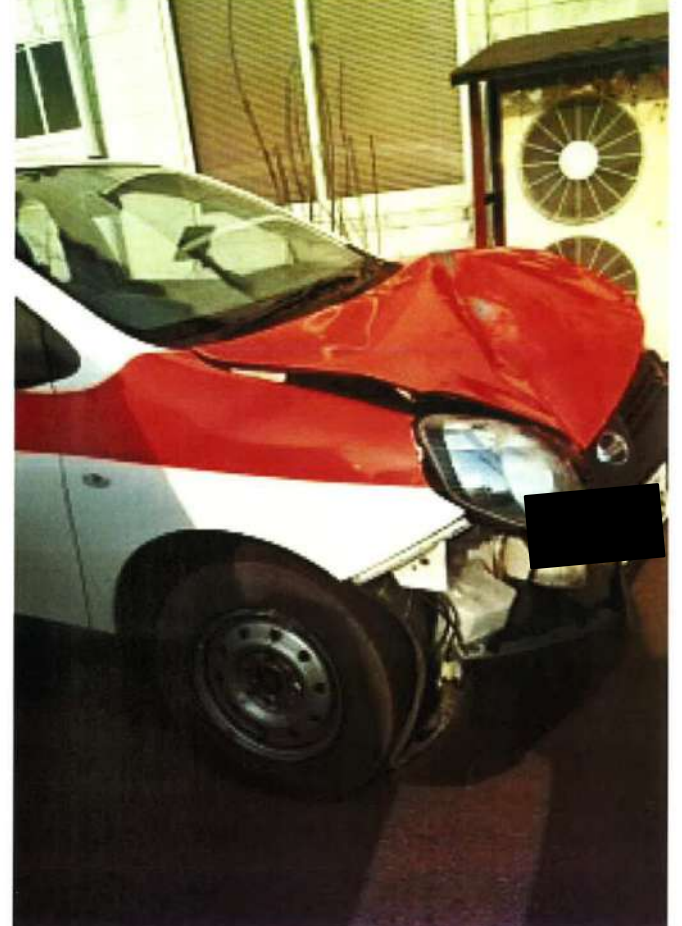
作業種別(件数)



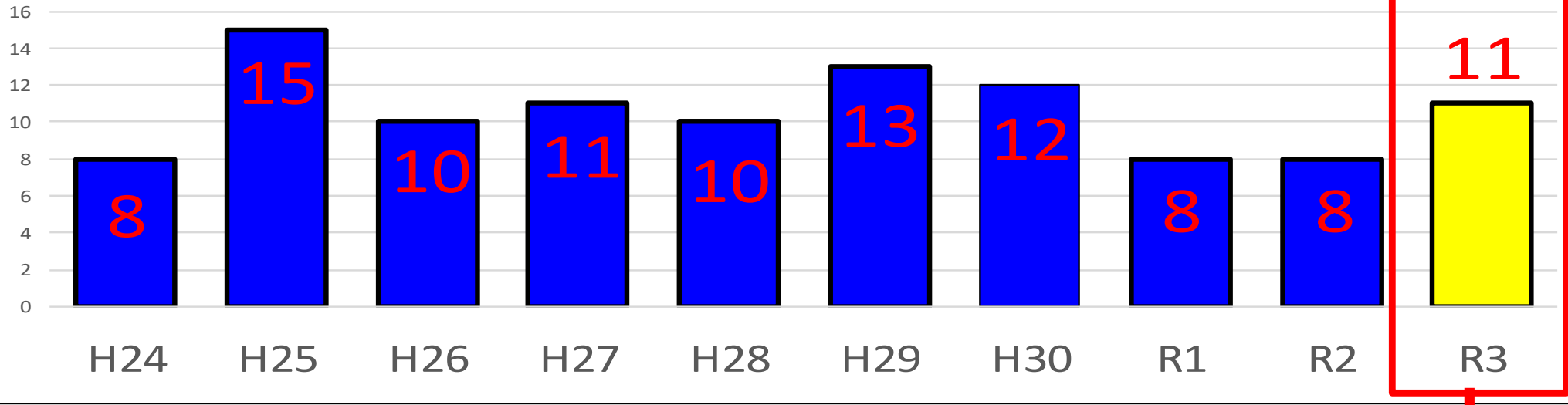


昨年 1件 1件 1件

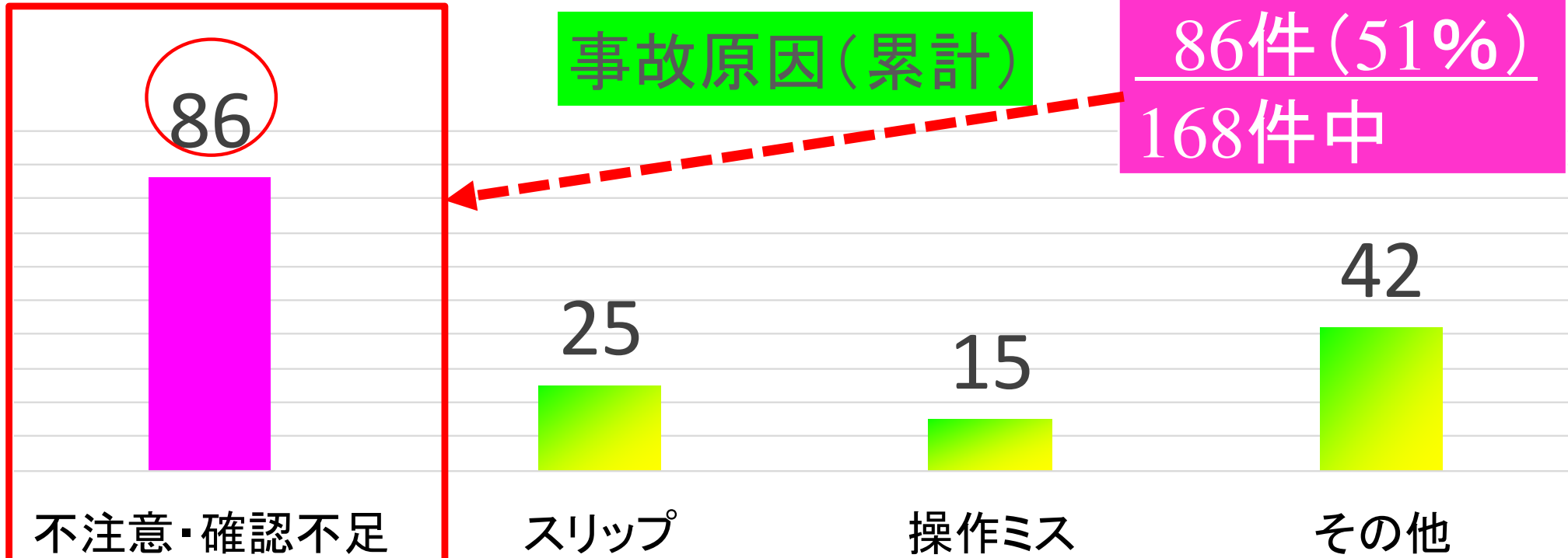
車両事故(統計)



会社車両 事故件数推移



確認不足、不注意 7件、飛び石 4件

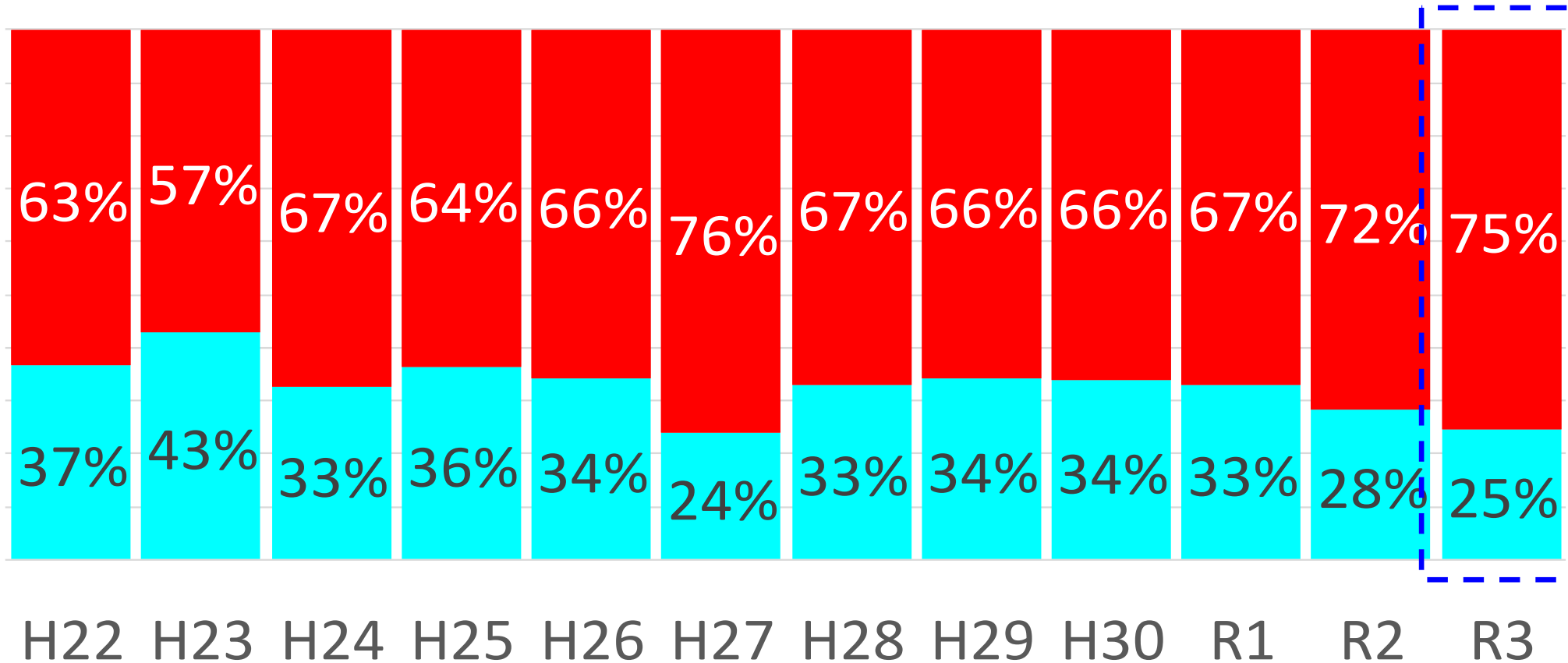


健康診断（統計）



健康診断(有所見者推移)

■ 有所見者
■ 異常無

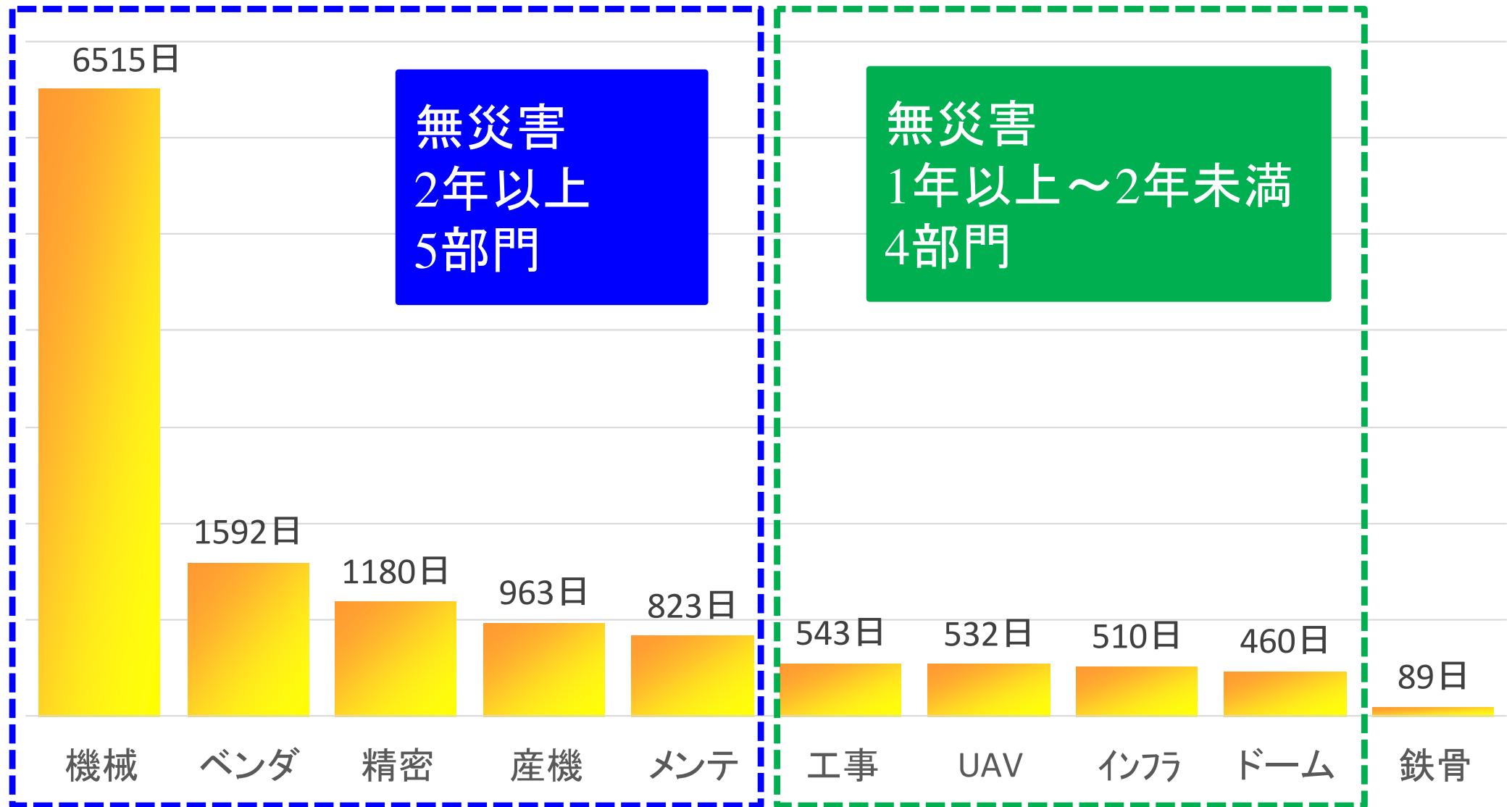


有所見者数 198名 75%
受診者数 263名

無災害（統計）

無災害 + 記録表										
目標時間								時間		
<input type="checkbox"/>	月	<input type="checkbox"/>	日							時間
現在										
自		平成	年	月	日					
至		平成	年	月	日					

無災害日数(R4.5.31現在)

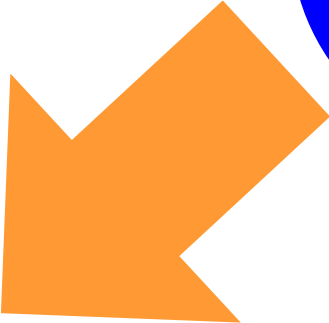


安全

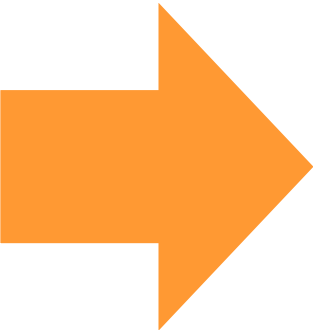
プロ意識

品質

生産



一人一人の意識の問題

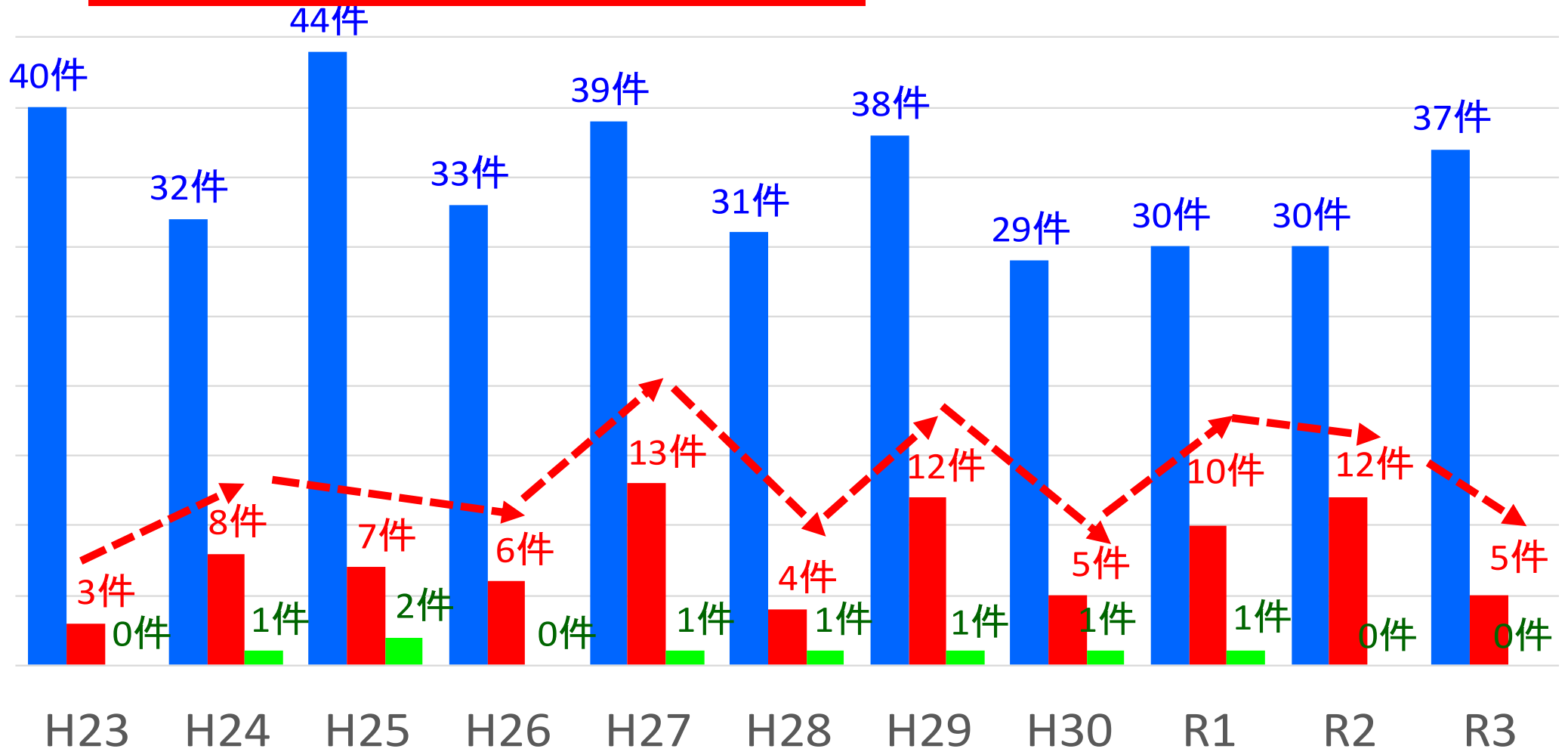


結果が変わる
良くなったり
悪くなったり

安全衛生計画

秋田県統計 災害件数推移 (同業種 4日以上休業件数)

■ 秋田県 ■ 大館管内 ■ 当社



No	署別	発生月	業種名	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発 生 状 況
1	大館	2月	木材伐出業 (6-2-1)	70歳代 (50~60年)	墜落、転落	その他の 環境等	労働者2名(うち1名が被災者)がフォワーダの荷台に乗り目的地まで移動した。フォワーダは積もった雪(走行路面からの高さは約1m)の横に停車し、被災者は荷台からその積もった雪の上に降車した。被災者はフォワーダの前方の走行路面上に転落し、その直後動き出したフォワーダに轢かれたものと推定される。
2	能代	6月	製材業 (1-4-1)	60歳代 (1年未満)	激突され	その他の木材 加工用機械	リングバーカーを使用した杉丸太の皮剥ぎ作業において、被災者は丸太の押さえローラーを上げた状態で作業中、加工しようとした杉丸太(直径24cm、長さ3.7m)が加工用カッターに接触したはずみで動揺し、被災者の右わき腹に激突したものと推定される。
3	大曲	7月	木造家屋建 築工事業 (3-2-2)	60歳代 (10~20年)	感電	送配電線等	個人住宅の軒の補修工事において、被災者が破損した軒を足場上で補修する作業中、足場上にあった電柱から住宅へつながる引き込み線(電線)をくぐり抜けようとした際に、引き込み線の配線の被覆が剥がれていた個所に首が接触したことにより感電したものと推定される。
4	本荘	8月	その他の 製造業 (1-17-9)	50歳代 (1~5年)	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 一般動力機械	被災者は一人で土壌改良材の製造作業を行っていたところ、土壌改良材を袋詰めする自動充填機の水平方向に可動する部分と当該機械のフレームとの間に胸部を挟まれた。
5	横手	9月	木造家屋建 築工事業 (3-2-2)	70歳代 (1~5年)	交通事故 (道路)	トラック	被災者は、作業現場で発生した廃材を産廃処理場へ軽トラックで運搬・積み下ろしした後、作業現場に戻るため道路上を走行し交差点(信号有)を右折したところ、直進してきた対向車(軽乗用車)と衝突した。
6	能代	10月	木造家屋建 築工事業 (3-2-2)	70歳代 (20~30年)	墜落、転落	足場	被災者は、社会福祉施設1階の軒天井を改修するために設けた足場の作業床上(高さ1.9m)もしくは、足場の昇降設備上から、コンクリート地面に墜落し頭部を強打したものと推定される(災害発生時は保護帽未着用。)
7	能代	12月	その他の 建設業 (3-3-9)	40歳代 (20~30年)	墜落、転落	建築物・ 構築物	ボイラーの煙道修繕工事において、被災者は煙道と煙突との境界部分で下請業者が施工する煙道補修作業状況を確認していたところ、煙道端部から7.3m下の煙突底面へ墜落した。

R3 秋田県全体7件 大館管内1件

令和4年度全社安全スローガン

安全掲示『見える化』の
継続で、安全意識の高揚
『無災害職場』

全社安全目標

労働災害件数 0件

重点実施項目

1.安全パトロールを強化



重点実施項目

2. 工事現場送り出し教育の (外注含む)強化

分類	送り出し教育	分類番号	KR-OS-72-1	版数	0版	頁No.	1/30
----	--------	------	------------	----	----	------	------

送り出し教育

分類番号：KR-OS-72-1
制定：2020.11.01



分類	送り出し教育	分類番号	KR-OS-72-1	版数	0版	頁No.	2/30
----	--------	------	------------	----	----	------	------

目次

	頁
はじめに	3
I 「送り出し教育」の目的	3
II 実施要領	4
1 教育の対象者	4
2 実施者	4
3 実施の時期	4
4 教育用資料	4
5 二次以下の協力会社への対応	4
6 作業所への実施報告	4
7 増員・応援があった場合	4
III 主な送り出し教育内容	5
IV 主な新規入場時教育内容	6
V 安全衛生ミーティング、KYポイント	6
VI 労働災害における経験則	7
1 報・連・相 2 リスクアセスメント作業手順書	7
VII 個別労働災害防止対策	8
1 服装	8
2 可搬式作業台の禁止事項	8
3 墜落制止用器具(安全帯)の正しい使用方法	9
4 開口部及び近接作業	11
5 ローリングタワーの正しい使用方法	12
6 足場上での作業	13
7 自由研削といし(サンダー・高速カッター等)の使用方法	13
8 移動式丸のこの正しい使用方法	14
9 車両系建設機械の適正な使用方法	15
10 移動式クレーン作業	15
11 高所作業車の使用方法	16
12 安全な玉掛作業	17
13 酸素欠乏危険作業での注意点	18
14 有機溶剤取り扱い作業の注意点	18
15 一酸化炭素中毒の注意点	19

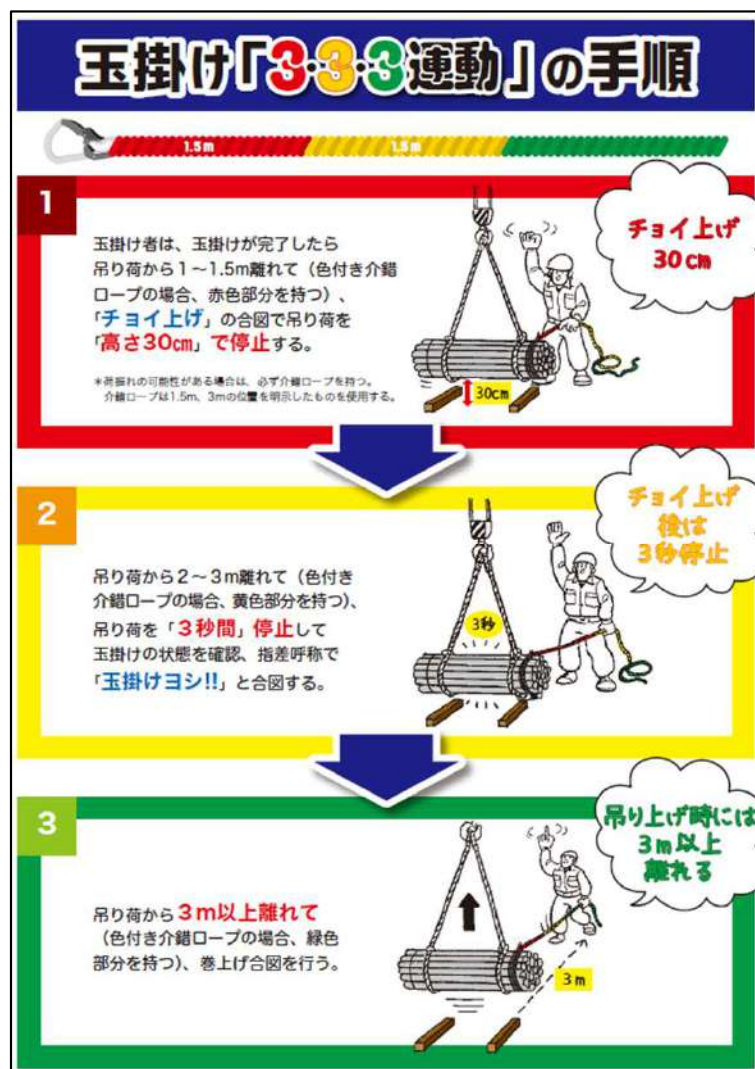
重点実施項目

3.各特別教育の開催



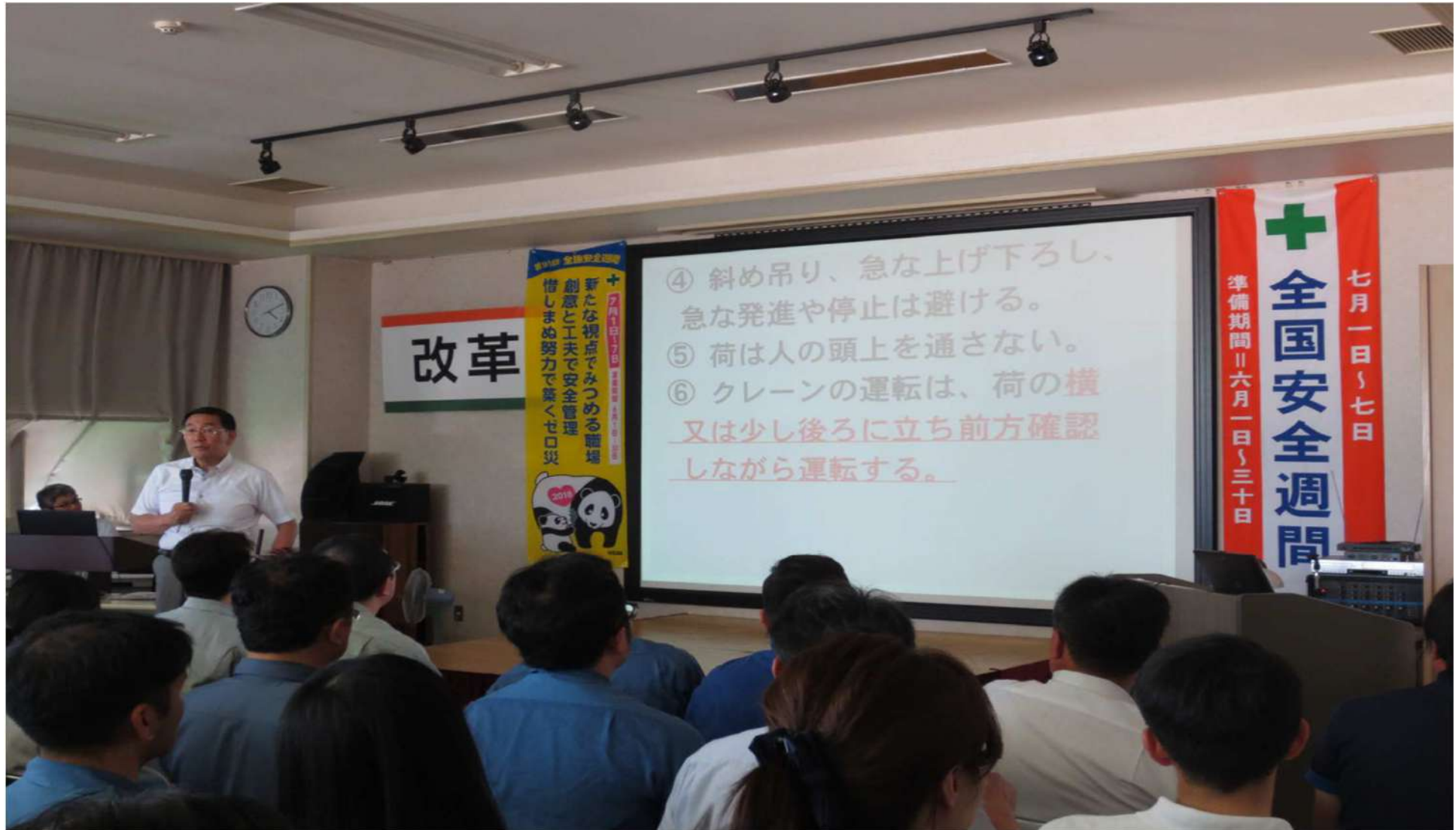
重点実施項目

4. 社員表彰安全標語の配信・掲示



重点実施項目

5. 外部安全講和の再開



重点実施項目

6.無災害表彰の継続



重点実施項目

7. ホームページ等を通じ 東光鉄工安全活動を社会へ発信

The screenshot shows the homepage of TEKO (東光鉄工株式会社). The browser address bar displays <https://www.toko-tekko.co.jp>. The website header includes the company name and a search bar. The main navigation menu contains: 分業別製品情報, TOKO DOME, 企業情報, 事業部紹介, 採用情報, お問い合わせ.

The main content area features three large panels:

- プラント (Plant):** 各種大型タンク, 圧力容器, 鉄管, 焼却炉・溶融炉・貯水槽. Below the panel is the text: 社会インフラの発展を支える、鋼構造物製作のプロ集団。
- 機械 (Mechanical):** 産業機械, プレス金型, 円筒研磨, クレーン保守・点検. Below the panel is the text: 生産性向上に寄与。

Below the main content is a news section with the following items:

- 2022-05-24 第67回秋田県溶接技術競技会 被覆アークの部最優秀賞 **NEW**
- 2022-05-23 「EE東北'22」に出展 6月1日～6月2日
- 2022-03-02 「女性社員が輝くキラ☆企業」で当社の取材動画が公開されました

路・水門の補修・新設。

社会インフラの発展を支える、鋼構造物製作のプロ集団。

生産性向上に寄与。

部門別 安全衛生活動計画

令和4年度 安全衛生活動計画書

期間: 令和4年7月1日～令和5年6月30日

部門名

鉄骨事業部

前年度反省	外注を含めた労働災害を3件(外注2件)発生させ、多大な損害を与えてしまいました。また3月3日にも労働災害を発生させてしまいました。今後は今まで以上に安全意識を高め無災害を継続する		
今年度基本方針	常に安全意識を高め、無災害を目指す		
重点実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ①クレーン災害の撲滅 ②社員の健康管理 ③安全掲示の「見える化」 ④5S活動の継続 		
具体的 実施計画	内 容	担 当	スケジュール
	①安全基本ルール of 遵守	全員	随時
	②毎朝の健康チェック検温と入室時の消毒の励行で健康を維持する	全員	毎日
	③安全掲示物で、安全意識を高める	全員	随時
	④5S活動の徹底で職場環境を整える	全員	随時

【①③ 安全掲示物、安全作業ルールの掲示】



【② 各出入口に消毒液の設置】



【② 熱中症対策と毎朝の健康チェック】



令和4年度 安全衛生活動計画書

期間：令和4年7月1日～令和5年6月30日

部門名

ドーム事業部

<p>前年度反省</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットも無く無災害を継続出来たが、体調不良による休みが発生し、心身共に体調管理に課題がある。 ・5S活動を計画していたが3S活動にとどまってしまった5S活動に繋がるように努めていきたい。 		
<p>今年度基本方針</p>	<p>・無事故 無災害の継続 ・体調管理の徹底</p>		
<p>重点実施事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5S活動の実施 2. KY活動の実施 3. 健康維持・体調管理の徹底 4. 新型コロナウイルス感染予防対策 		
<p>具体的実施計画</p>	<p>具体的内容</p>	<p>担当</p>	<p>スケジュール</p>
	<p>1. 作業終了時の整理整頓、清掃の徹底と自主PTの実施</p>	<p>職班長/安全委員</p>	<p>作業後/自主PT月2回（第2.4週）</p>
	<p>2. KY活動とツールボックスミーティングの実施で危険を事前周知</p>	<p>職班長/作業者</p>	<p>朝礼時</p>
	<p>3. 作業開始前の体調確認及び健康管理、維持の推進</p>	<p>全員</p>	<p>毎日</p>
<p>4. 出勤時の体温測定・工場入場時、手の消毒実施</p>	<p>全員</p>	<p>毎日</p>	

◎放水訓練

- 2022.4.15に放水訓練を実施



ドーム事業部

◎場外一斉清掃

- 2022.4.22に本宮一斉清掃を実施



◎KY前の災害事例の紹介

- 毎週1回月曜日に実施



令和4年度 安全衛生活動計画書

期間: 令和4年7月1日～令和5年6月30日

部門名 | インフラ鉄構事業部

前年度反省	無災害を達成出来良かった。しかし、危ない内容のヒヤリ・ハットがあった。安全及び5Sに対する意識が向上してきているが、まだまだ低い。全員の意識改善が必要。		
今年度基本方針	危険作業を見逃さない、注意しあえる職場作り		
重点実施事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5S活動の強化 2. KY活動の強化 3. ヒヤリ・ハット委員会等の安全活動継続 4. 全員の安全、5Sに対する意識の改善 5. 無災害の継続 		
具体的 実施計画	具体的内容	担 当	スケジュール
	・エリア毎に週末一斉清掃を実施する。	全員	7/1～6/30
	・朝礼後、各班ごとにKYを実施して内容を作業場に掲示する。製品重量の確認と表示を確実に行う。	各班毎 安全委員	毎朝
・開催月毎にテーマを設定し、過去のヒヤリハットに対しての対策・予防方法を検討し、確認し合う。	安全委員 作業者	毎月	

【場外一斉清掃の実施】



【ヒヤリ・ハット委員会の実施R4.06.22】



令和4年度 安全衛生活動計画書

期間: 令和4年7月1日～令和5年6月30日

部門名

工事事業部

前年度反省	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、災害0件で終わったこと。今年度も継続させていきたい。 ・各現場によって安全対策が異なる為、現場の大きさにかかわらず安全対策の統一化を目指したい
-------	---

今年度基本方針	安全対策の統一化を図り、無災害を継続する
---------	----------------------

重点実施事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスクアセスメントを取り入れた安全衛生打合せを継続的に実施する 2. 日々の安全衛生打合せ(作業指示書)の完全実施 3. 不安全行動に対する指導の強化
--------	--

	具体的内容	担当	スケジュール
具体的 実施計画	1.危険予知活動時のリスクアセスメント完全実施	各作業所全員	作業開始前
	2.安全衛生打合せ(作業指示)記録書を作成し、作業変更時は再度打合せを行い、予定外作業は禁止する	現場責任者	作業前日打合せ
	3.作業環境・作業手順を全員に周知し、不安全行動に妥協・黙認をしない。	各作業所全員	作業開始前・作業中

萱草橋作業所

【熱中症対策 日よけ設置】



日影町橋作業所

【安全通路にクランプカバー設置・明示】



2022年度 安全衛生活動計画書

期間:2022年7月1日～2023年6月30日

部門名

メンテナンス事業部

<p>前年度反省</p>	<p>以前に比べてヒヤリハットすることは減ってきているが、引き続き事前の安全対策と周知を徹底していく。</p>		
<p>今年度基本方針</p>	<p>施工管理体制の確立と基本ルールの厳守で、災害・クレームを未然に防ぎ、安心安全な作業現場を目指す。</p>		
<p>重点実施事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作業前の安全対策と危険作業の周知徹底。 ・3S活動の徹底。 		
<p>具体的 実施計画</p>	<p>具体的内容</p>	<p>担当</p>	<p>スケジュール</p>
	<p>客先と現場状況の確認</p>	<p>現場責任者</p>	<p>作業前</p>
	<p>危険予知活動報告書の作成</p>	<p>全員</p>	<p>朝礼/作業前</p>
	<p>法令(資格等)の厳守</p>	<p>全員</p>	<p>年間</p>
	<p>職場の3S活動</p>	<p>全員</p>	<p>年間</p>
	<p>適正な作業服・保護具の着用</p>	<p>全員</p>	<p>年間</p>

警標を使用してのKY活動強化 (周囲への注意喚起)



●クレーン点検中／電源OFF(電源盤)



●クレーン点検中(ペンダントスイッチ)



●立入禁止



●立入禁止

令和4年度 安全衛生活動計画

期間: 令和4年7月1日～令和5年6月30日

部門名

ベンダー事業部

前年度反省	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害件数0件達成(無災害継続日数1592日)、無災害日数を掲示する事で意識的に災害0を目指す。 ・3S活動の推進する事が出来た。更なる効率化を進め、標準化を図る。 		
今年度基本方針	危険予知の周知徹底と安全基本ルールに則った作業の共有で安心して働くことができる職場作りをしよう		
重点実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の災害事例を踏まえたKY活動の推進 ・安全基本ルールの周知と遵守による、安全作業の徹底 ・健康管理の徹底で体調不良・ストレス等による事故・労働災害の撲滅 		
具体的 実施計画	具体的内容	担 当	スケジュール
	・作業終了後の点検・清掃・整理整頓の徹底	各職班長	随 時
	・KY活動の強化	職班長・安全委員	毎朝礼後
	・保護具着用・管理の徹底	保護具管理責任者	随 時
	・感染症予防を含めた健康管理・維持の推進	安全委員	-

異常想定訓練の実施



火災を想定した放水訓練



放水訓練と同時に、異常想定訓練を実施した。

地震による火災、負傷者の発生を想定し、同時に行う事で客観的、主観的な問題点や手順を明らかにし、今後に繋がるよう活動を行う。

負傷者の搬送・救護



令和4年度 安全衛生活動計画書

期間: 令和4年7月1日～令和5年6月30日

部門名

産業機械事業部

前年度反省	<ul style="list-style-type: none"> ・ケガ・災害等無く、無災害を継続できた ・コロナ感染者が発生し、発生前より感染症対策に気を遣うようになった 		
今年度基本方針	<p>職場の危険有害要因を明確化し“災害ゼロ”から“危険ゼロ”の職場づくりを推進</p>		
重点実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理の徹底 ・不安全作業に対する指導の強化 ・職場の危険有害箇所の洗い出しと改善 		
具体的 実施計画	具体的内容	担 当	スケジュール
	<p>1. ウイルス感染症対策の完全実施</p> <p>年次有給休暇の取得を促進</p>	<p>全員</p> <p>管理職</p>	<p>随時</p>
	<p>2. 不安全作業、行為に対する指導</p> <p>若手社員への教育</p>	<p>安全委員</p> <p>各班長・各部署長</p>	<p>随時</p>
	<p>3. 危険有害箇所の洗い出しと申告</p> <p>危険有害箇所の改善</p>	<p>全員</p> <p>各班長・各部署長</p>	<p>随時</p>

● 4/28 場外清掃実施



令和4年度 安全衛生活動計画書

期間:令和4年7月1日～令和5年6月30日

部門名

機械事業部

前年度反省	<ul style="list-style-type: none"> ・災害も無く、無災害日数の継続が出来た。 <p style="text-align: right;">6515日(5/31付)</p>		
今年度基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. KY活動の強化で無災害の継続。 2. 3S活動を徹底し、安全作業の強化 		
重点実施事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業前のKY活動の徹底及びヒヤリハットの周知徹底 2. 作業後と週末 『 整理・整頓・清掃 』 徹底 		
具体的 実施計画	具体的内容	担 当	スケジュール
	・作業前ミーティングでKY作業を周知させる。	役職者 リーダー	毎日
	・作業時の安全区域の確保	全員	随時
	・作業後、周辺の整理、整頓	全員	随時
	・週末の設備大掃除	全員	週末

令和4年度 安全への取り組み

機械事業部

床塗装



令和4年度 安全衛生活動計画書

期間: 令和4年7月1日～令和5年6月30日

部門名

精密事業部

<p>前年度反省</p>	<p>・人員不足による作業負荷バランスが良くない状況が発生してしまった。 作業協力と注意喚起で、無災害を継続できている。 無災害継続日数(1210日 6月30日時点)</p>		
<p>今年度基本方針</p>	<p>安全環境の改善維持で無災害を継続する</p>		
<p>重点実施事項</p>	<p>・社内5S会議との連携で作業環境改善を進めて行く ・心身ともに集中した作業ができるよう体調管理の呼び掛け ・保護具の安全適正な使用</p>		
<p>具体的 実施計画</p>	<p>具体的内容</p>	<p>担 当</p>	<p>スケジュール</p>
	<p>・指摘事項の改善状態と類似不具合無いか確認していく。</p>	<p>安全委員 5S委員</p>	<p>安全パトロール時</p>
	<p>・周りの作業者への目配りと声掛けで、体調不良等への対応を行っていく。</p>	<p>安全委員 全員</p>	<p>随時</p>
	<p>・保護具の正しい使用状況をチェックする。</p>	<p>安全委員 5S委員</p>	<p>随時</p>



工場内外環境改善状況

・床に置いていた加工途中の部品をつまづき・転倒防止のため仕上げ台に置くようにした。部品重量約22kg

・部品加工用の治具を台木に上げて棚に置きリフトで出し入れが容易に出来るようにした。治具重量約65kg



令和4年度 安全衛生活動計画

期間: 令和4年7月1日～令和5年6月30日

部門名

UAV事業部

前年度反省	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行テスト中に事故が発生した時、操縦者と随伴者だけの目撃証言だけでは事故原因を追及しきれないことがあった。 ・作業中に滑って転びそうになる等、ヒヤリハット事例があったが収集や対策はしていなかった。 		
今年度基本方針	無事故無災害・作業効率向上を目指す		
重点実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローン飛行前のKYミーティング・機体確認の徹底 ・飛行時、作業時の保護具の完全着用の徹底 ・安全確認事項の掲示 ・機体置き場・作業場の整理整頓 		
具体的 実施計画	具体的内容	担 当	スケジュール
	・ドローン飛行前のKYミーティングの実施	作業者全員	随 時
	・ドローン飛行時の機体チェックの徹底	作業者全員	随 時
	・安全確認事項の掲示	安全委員	随 時
	・機体置き場・作業後の整理整頓	作業者全員	随 時



・ 滑り止めのゴムマット設置前



・ ゴムマット設置後

※冬場は滑りやすいため、事故防止策としてゴムマットを敷設した。



※飛行テスト中の事故発生状況を記録するためのWi-fiカメラを設置



※ お客様からお預かりした機体を管理しやすいよう棚の区画分けを実施

安全部門表彰



連続無災害部門 5部門

機械事業部

産業機械事業部

ベンダー事業部

メンテナンス事業部

精密事業部

安全標語表彰

応募総数 184点



最優秀作品



『何事も起きてからでは遅すぎる』
安全は1人ひとりの意識の積み重ね
高めよう安全意識
めざそう『ゼロ災職場』

鉄骨事業部 斎藤 司

応募総数184点の中から選ばれました。
沢山のご応募ありがとうございました。

優秀作品 9作品

優秀	目くばり、気くばり、思いやり 気がついたら、即行動 危険を事前に排除しよう	鉄骨	菅原 剛
優秀	いつもの作業、慣れてる作業、潜む危険を意識しよう	鉄骨	野口 清浩
優秀	確認は決して『だろう』で終わらない 手間だと惜しまず 再確認	鉄骨	板谷 雅美
優秀	見る目 聞く耳 叫ぶ声 守ろう仲間と自分の身 全員笑顔で安全職場	鉄骨	小田桐 伸治
優秀	日々の点検 常に確認 妥協は許すな 怠るな	機械	山田 俊晴
優秀	ちょっと待て その作業は本当か？ 一呼吸ついて 安全作業	機械	高橋 秀明
優秀	ありがとう 危険の指摘に 感謝する	ドーム	畠山 幸士
優秀	ってきます いってらっしゃい。安全作業で今日もただいま お帰りなさい。	インフラ	木村 淳一
優秀	ベテランをいつも見ている新人が、あなたの態度が社風を決める、だから守るぞ作業手順	工事	岩谷篤

全国安全週間スローガン

『安全は急がず
焦らず 怠らず』

令和4年度 全社安全ゼロガン

安全掲示『見える化』の
継続で、安全意識の高揚
『無災害職場』

※直近、最も災害が多い部門

安全委員長コメント

花岡 菅原安全委員長

社長コメント

菅原社長

(第28回)
令和4年度
安全衛生大会

TOKO 東光鉄工株式会社